

長野県感染症情報（2016年（平成28年）第 35週） （2016年 8月29日 ～ 2016年 9月 4日）

2016年（平成28年）9月 7日
 長野県健康福祉部保健・疾病対策課感染症対策係
 （課長）小松仁（担当）山崎千速 笠原ひとみ
 026-235-7148(直)
 026-232-0111(代)内線2640
 026-235-7170(FAX)

●全数把握感染症

腸管出血性大腸菌は、感染すると腹痛や下痢を起こし、まれに出血性の下痢や溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こします。乳幼児、小児、高齢者の方などは重症化する場合がありますので、注意が必要です。

●定点把握感染症

ヘルパンギーナは前々週一旦減少したものの、再び増加傾向に転じています。流行性耳下腺炎は例年と比較し多い状況であり、今後の流行拡大が懸念されます。

長野県感染症情報 ～トピックス～

<http://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/ichiran.html>

環境保全研究所病原体検出状況

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/jigyo/gyomu/bunya/kansensho.html>

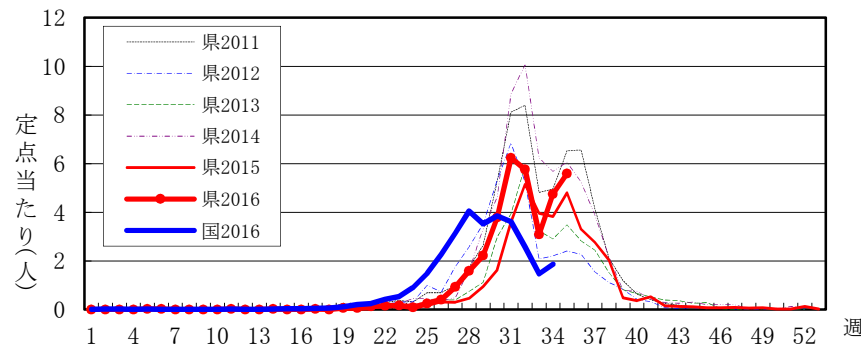
全数把握感染症届出状況

一類感染症	なし
二類感染症	結核 4例、潜在性結核 8例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 3例(O157、O26、O145 各1)
四類感染症	レジオネラ症 1例
五類感染症	アメーバ赤痢 2例、 クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
動物感染症	なし

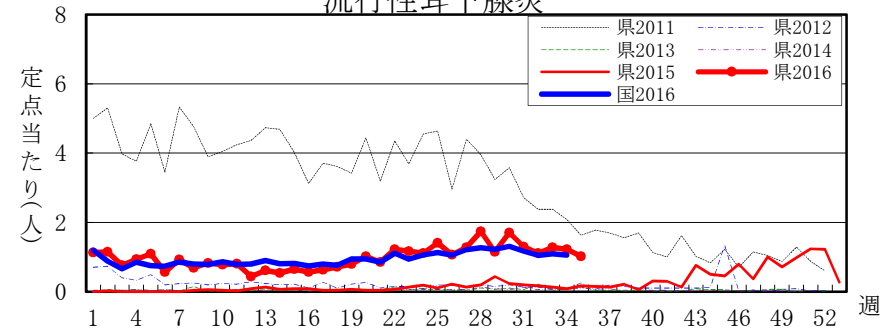
定点把握感染症届出状況

感染症名	今週	1週前	2週前
1 ヘルパンギーナ	5.59	4.74	3.09
2 感染性胃腸炎	3.20	3.09	2.02
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.43	1.37	0.68
4 流行性耳下腺炎	1.02	1.22	1.28
5 手足口病	0.87	0.67	0.55

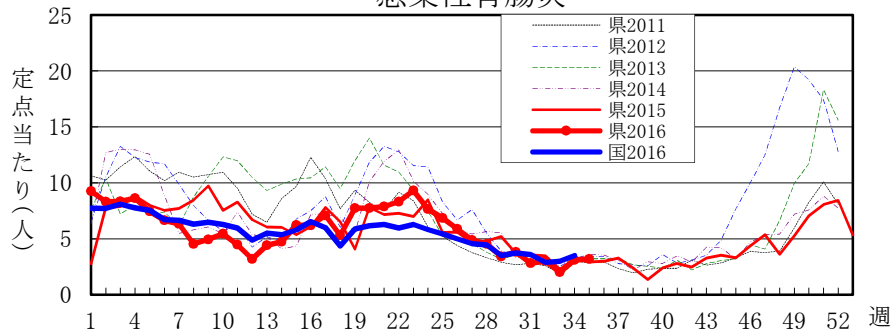
ヘルパンギーナ



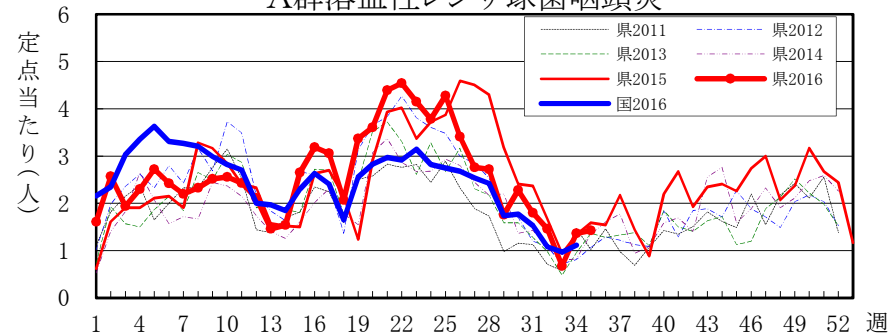
流行性耳下腺炎



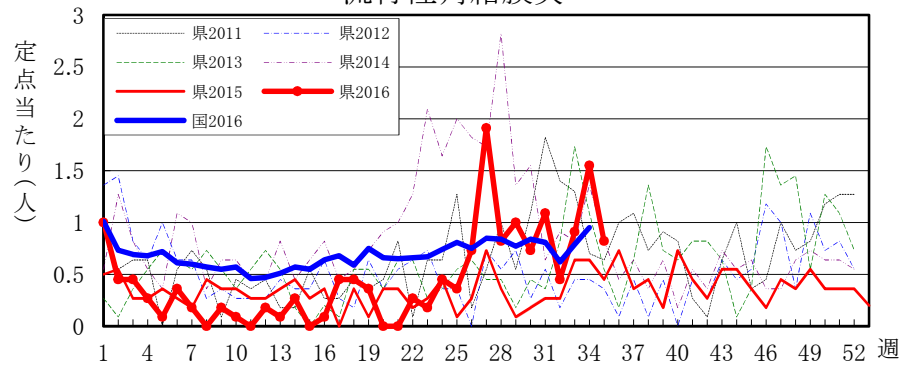
感染性胃腸炎



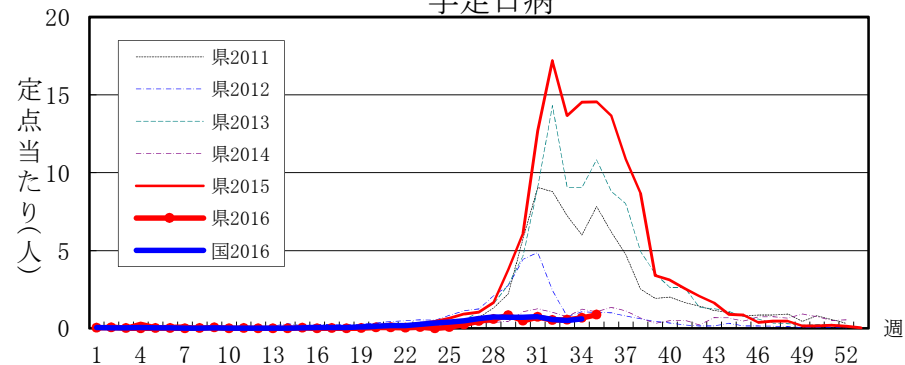
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



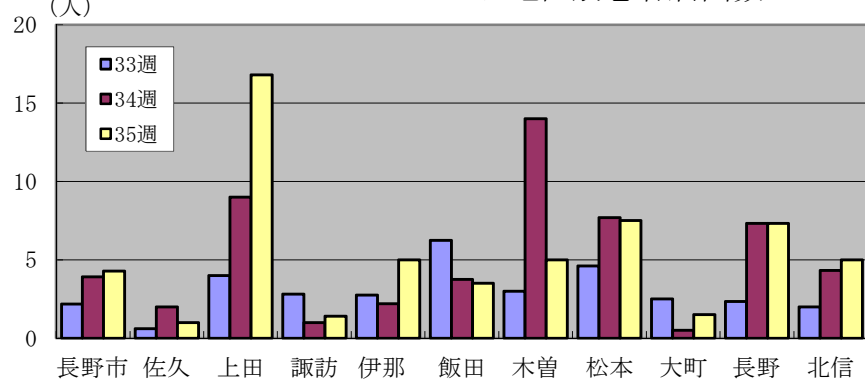
流行性角結膜炎



手足口病



ヘルパンギーナ地区別患者届出数



流行性耳下腺炎地区別患者届出数

